

教科・領域【 工 業 】 科目【 機 械 工 作 】

学科・コース	電子機械科	学 年	第 2 学年	単位数	2 単位
--------	-------	-----	--------	-----	------

1 学習内容と学習到達目標

各種の工業材料の加工法を通してその性質を理解させるとともに、各種の加工法による生産技術を、機械技術の発達の歴史と将来を見通したうえで、合理的な生産方法を企画し、実際に活用できる能力と態度を育てることを目標にする。

2 使用する主な教材等

- |                                |
|--------------------------------|
| (1) 使用教科書、副教材等<br>新機械工作 (実教出版) |
| (2) 授業で配布するもの<br>各種プリント        |

3 年間の学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項や他教科との関連等)	考査範囲等
一 学 期	第1章 製品をつくる	4	・製品のつくり方についての概要を理解させる。		中間考査  期末考査
	第2章 機械材料	5	・機械的性質の種類と測定法を理解させる。		
		6	・金属の構造や温度による状態を理解させる。 ・鉄鋼材料の熱処理等を理解させる。		
		7	・非鉄金属・非金属材料の種類とその性質を理解させる。		
	《課題・提出物等》 毎時間配布されたプリントに記入することで用語を覚え、練習問題を解き提出します。				
	《1学期の学習状況の評価方法》 学期全体の評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の観点をもとに、中間考査、期末考査の成績で概ね80%、授業態度・提出物・積極性、出席状況等学習活動への参加・態度などで概ね20%の配分で行います。				

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (特記事項や他教科との関連等)	考查範囲等
二 学 期	第3章 鑄造	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑄造についての基礎を理解させる。</li> <li>・溶接についての基礎を理解させる。</li> <li>・接合についての基礎を理解させる。</li> <li>・素材加工・成形加工の種類と特徴を理解させる。</li> </ul>		中間考查
	第4章 溶接・接合	10			
	第5章 塑性加工	11			期末考查
		12			
<p>《課題・提出物等》 毎時間配布されたプリントに記入することで用語を覚え、練習問題を解き提出します。</p> <p>《2学期の学習状況の評価方法》 学期全体の評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の観点をもとに、中間考查、期末考查の成績で概ね80%、授業態度・提出物・積極性、出席状況等学習活動への参加・態度などで概ね20%の配分で行います。</p>					
三 学 期	第6章 切削加工	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切削加工についての基礎を理解させる。</li> <li>・各種加工法を理解させる</li> </ul>		学年末考查
	《課題・提出物等》 毎時間配布されたプリントに記入することで用語を覚え、練習問題を解き提出します。				
	《3学期の学習状況の評価方法》 学期全体の評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の観点をもとに、学年末考查の成績で概ね80%、授業態度・提出物・積極性、出席状況等学習活動への参加・態度などで概ね20%の配分で行います。				
	<p>《年間の学習状況の評価方法》 1学期、2学期、3学期の平均。</p>				